



## 母子の健康月間

JOIN LEADERS  
EXCHANGE IDEAS  
TAKE ACTION

Rotary International

### CONTENTS

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| 1. ガバナーメッセージ …………… 1  | 6. 米山梅吉記念館便り …………… 12        |
| 2. ロータリーモーメント …………… 3 | 7. クラブ通信 …………… 13            |
| 3. ロータリーコラム …………… 5   | 8. 2017年1月会員数の増減および出席率… 14   |
| 4. ロータリーの歴史 …………… 8   | 9. 2016-17年度1月会員の動き …………… 裏面 |
| 5. ロータリー情報 …………… 11   |                              |



人類に奉仕する  
ロータリー

2016-17年度  
国際ロータリー会長  
ジョン F. ジャーム



2016-17年度 第2650地区

## 刀根 莊兵衛 ガバナー メッセージ



人類に  
奉仕する  
ロータリー



## 2650地区 ロータリークラブ 会長・幹事の皆様へ

謹啓

寒く厳しかった冬も過ぎ去り、ようやく暖かな春の季節がやってまいりました。

桜前線も北上し、各地で桜の便りが聞かれ、心なしかうきうきする毎日です。

クラブ会長、幹事、会員の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。今年度も残り3カ月。いよいよ次年度の準備が始まり、クラブ内にもぎやかになってきている頃ではないでしょうか。

4月は母子の健康月間 (Maternal and Child Health Month) です。

現在、世界では疾病、栄養失調、医療の不備、不適切な衛生設備が原因で毎年、5歳未満の子ども590万人が亡くなっていると言われてしています。

はしか、マラリア、肺炎、エイズ、下痢性疾患は、5歳未満の子どもの主な死亡要因です。その予防ワクチンや抗生物質を提供することで疾病から子供たちの命を救う事ができます。また、抗レトロウイルス薬や粉ミルクでの育児を奨励することで母から子へのHIV感染を予防することができます。汚染水による下痢性疾患によって栄養失調が悪化するため水と衛生を改善して子どもの栄養促進を図ることができます。実際、これらの活動は、現在、ロータリークラブが取り組んでいる具体的なプロジェクトなのです。

また、サハラ以南のアフリカでは、39人に1人の女性が妊娠中または出産による合併症で亡くなっています。この対策として、リプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)の医療と研修を充実させることによって、妊産婦の死亡を80%防ぐことができます。

ロータリーは母子の健康を改善し、5歳未満の幼児の死亡率を減らすための活動と研修を支援しています。是非、皆さまのクラブにおかれましても、グローバル補助金などを利用して、母子の健康を守る様々なプロジェクトに挑戦して戴ければと思います。

昨年度、敦賀ロータリークラブからの推薦で、上野麻実さんがこの母子の健康の分野で2015～16年度グローバル補助金の奨学生に選ばれました。上野麻実さんは国境なき医師団の助産師としてイエメンとアフガニスタンで活動をされる中で、今後、感染症のある国々で活動をするうえで、公衆衛生や熱帯医学の専門知識が必要であると感じていました。そのような折、ロータリーのグローバル補助金奨学生に応募戴き、念願のイスラエルの名門ヘブライ大学で、公衆衛生学修士課程で学ぶ機会を得て、昨年秋に無事帰国されました。

帰国後、直ちに敦賀クラブの例会や地区学友会主催の報告会で、一年間のイスラエルでの研修の成果をご発表戴きました。そして、私の敦賀での最終公式訪問にもご出席戴き、ロータリーに対する感謝の気持ちを述べられました。現在、上野さんは、イスラエルで学ばれた知識を生かして、再びヨルダンのアンマンで、国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) の一員として活躍されておられます。このようにロータリーは、世界の第一線で人道的活動をする人を育てているのです。

会長・幹事の皆様には是非、次年度へ向けてグローバル補助金奨学生の積極的なご推薦をご検討戴き、世界で活躍する人材を2650地区から一人でも多く送り出して戴ければと思っております。

さて、4月8日、9日はいよいよ年に一度の地区大会が開催されます。地区大会の目的は、ネットワークを広げ、感銘深い講演を聴き、ロータリーのさまざまな話題について話し合うことです。また、地区における奉仕プログラム、プロジェクト、広報の成功を紹介することによって会員の奉仕意欲を高め、クラブレベルを超えたロータリーのビジョンを共有し、思い出に残る親睦を経験してもらえるようにすることとなっています。

今回の地区大会は、特にクラブ会長様と会員の皆様为主役の大会となるよう、従来の形式には拘らないプログラムを作成いたしました。

まず大会第一日目は、第一セッションではロータリー財団100周年の記念講演会、続いて、第二セッションでは、日本における著名な6名の論客の皆様にご登壇戴きシンポジウムを開催致します。テーマは『夢を語り、現在を刷新 “Review from the future and Renew” ～日本のロータリー100周年、そしてその先のロータリーの未来へ』。パネリストの皆様にご21世紀の日本のロータリーの夢を思う存分語って戴きます。

ところで、日本のロータリーもあと3年で誕生100年を迎えますが、この100周年を目前にして、今、日本のロータリーは歴史の大きな転換点に立たされています。

世界の人口が着実に増え続ける中で、過去20年間、世界のロータリー会員数は停滞し、決して成長しているとは言い難い状況になっています。特にロータリー先進国と言われた国々では会員数がいまだに減少あるいは停滞傾向にあります。日本においては、ロータリークラブ数、会員数とも、ようやく底を打ったとはいえ、まだまだ低迷状態にあります。特に、人口減少が始まった地方都市においてはクラブの弱体化や高齢化の傾向が目立ってきました。

このような現状に、国際ロータリーは10年以上前から危機感をもって様々な施策を打ち出し、RIの抜本的な改革を目指した戦略計画や会員増強のための試験的なプログラムを開発し、ロータリーの構造改革に取り組んできました。

また、ちょうどこのような中、昨年2016年の規定審議会で、ロータリークラブにクラブ運営の柔軟性、自主性が大幅に与えられることになりました。

昨今のあまりの急激なロータリーの変化に戸惑いを隠せないのが、現在の日本の姿ではないかと思えます。「これからのロータリーはどうなるのか?」、「ロータリーはどのような方向に進んでいくのか?」こんな漠然とした不安の中で、多くの日本のロータリアンは呆然自失、立ちすくんでいるようにも思われます。

この変革期に、私たちはもう一度ロータリーの原点に立ち返り、あるべき姿を思い描き、夢を語り、そこから現在を再構築することが求められていると思えます。そのためには、クラブの将来ビジョンを会員全員で徹底的に腑に落ちるところまで話し合い、夢を共有し、その夢に向かって、変革すべきところは思い切って刷新することが必要ではないかと考えております。

今回の地区大会では、日本を代表する論客たちが、ロータリーの未来の夢を大いに語り、これからのロータリークラブの在り方について、多くのヒントをご提示できるものと思えます。このディスカッションを通じての気づきが、皆様のクラブの活性化に少しでも寄与できることを願っております。

大会第二日目は、ロータリーの絆を実感し、ロータリアンである喜びを感じて戴けるような一日としたいと考えています。国際大会を彷彿させる会場設営やエンターテイメント、福井県の魅力を十分味わって戴く友愛の広場、地区内ロータリアンが心から語り合い、友情を深める機会となる友愛ステージなどを様々な企画を準備しております。ロータリーを楽しみ、親睦を深め、さらに新たな年度へ向かっての架け橋となる思い出の残る大会にしたいと思えます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

あと残り3カ月、皆様のご健勝と貴クラブの益々のご発展をお祈り申し上げます。

謹言

2016-17年度ガバナー

刃根 荘兵衛

こつこつ こつこつ 書いてゆこう

こつこつ こつこつ 歩いてゆこう

こつこつ こつこつ 掘ってゆこう

坂村真民

# ロータリー モーメント

Rotary Moment

## 国内友好クラブ締結及び会長就任時における 当クラブでの合同例会と親睦花見会

2016-17年度 ガバナー補佐

くらもと ぎょうけい  
倉本 堯慧 (奈良東RC)



桜の時期になると思い出なのですが、今から約20年前、当寺本尊である帯解子安地藏大菩薩の東北における分身像が、江戸時代に現在の福島県に存在したという文献を見て、当時の福島県知事佐藤氏に、奈良ロータリークラブの先輩M氏の協力を得て調査を依頼し、その後一週間ほど福島県を訪問いたしました。

その折、奈良市観光協会の依頼により、奈良市と姉妹都市である郡山市観光協会を表敬訪問し、同時に郡山東ロータリークラブでメイクアップを行いました。

突然の訪問にもかかわらず、姉妹都市の奈良から坊さんが来たということで大歓迎を受け、その上、貴クラブと友好締結をしませんかと勧められ、帰寧後、我がクラブに話をすると結構な話であるから締結を勧めようということになって、平成14年4月17日に我がクラブにおいて、当時の谷井会長の元、調印式を行いました。以来、各年毎に互いに交流を重ね、親睦を深めました。私の会長就任時の平成21年4月8日には、春爛漫の奈良にて合同例会を開催し、翌日には桜が満開の吉野山で交流、親睦を深めました。幸い好天にも恵まれ、来寧された17名の郡山東ロータリークラブのメンバーには大層喜んでいただきました。また、6年前に起こった東日本大震災では、震災後に当クラブ30名程で現地を訪問し、被災地で慰霊法要を行い、大層喜んでいただきました。これらのことは、私にとって大変良い思い出として心に残り、今後もロータリアンになって良かったと永く心に残ることでしょう。

アポイントメントもせずに突然に訪問したにもかかわらず、大歓迎を受けその上、友好クラブの締結まで出来たことは、郡山東ロータリークラブの皆さまの友情に大変感謝すると同時に、私がロータリアンであったから出来たことと強く思う次第です。現在ロータリアンである方々は、このようなラッキーなこともあるので、親友には是非ともロータリーへの入会を勧められてロータリアンになっていただく様、努力していただきたいと思う次第です。

合掌

# 私のロータリーモーメント

2016-17年度 地区財団資金推進委員長

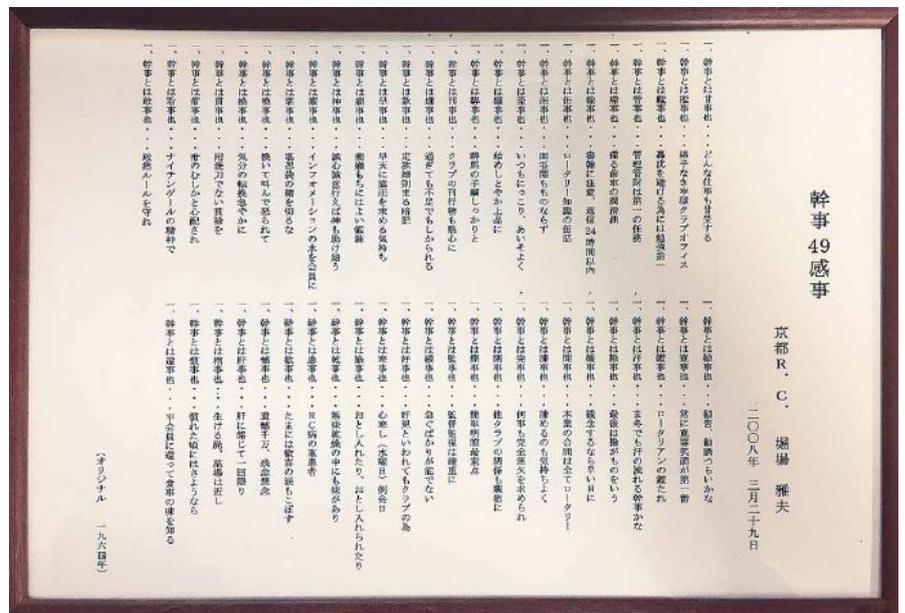
なかたに ゆうじろう  
中谷 裕二良 (生駒RC)

生駒ロータリークラブの中谷裕二良と申します。私は2003年春に入会をいたしました。14年の間、ロータリーだからこそ!の体験をする事が出来ました。その経験が今の自分の糧になっている事は間違いありません。

ロータリーに対する社交倶楽部のようなイメージは、初めて参加したIMでの故 堀場パストガバナーのスピーチで覆りました。「人々の健康、教育等の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和の達成を目指しておきながら、毎週ホテルの部屋に集まってステーキをゴコゴコしていても、なんか可笑しいとは思いまへんか」と話された方が世界のHORIBAの創業者だと後に知り、感動しました。こんな方がおられるロータリーって?と期待と憧れを抱いた新米の頃でした。

偶々、幹事予定者として参加した2008年の地区協議会 幹事グループのリーダーが堀場パストガバナーで「幹事49感事」と

書かれた心得を、49の「かの字」で表現されていました。このオリジナルが私の生まれた翌年(1964年)に作られたものなんて驚きでした。ロータリーへの深い知識と理解を感じ、今も額に入れて会社の壁に掲げております。特に「ロータリーは『環』事也・・・回る歯車の潤滑油」「ロータリーは『還』事也・・・平会員に還って食事の味を知る」は印象に残っています。



時が流れ、次に心に残った言葉は「堀場パストガバナーがロータリーに入会したばかりのころ、東京国際大会で、会場整理を担当しておられた際に聞かれ、事ある度にお話をされていたマクレーンRI会長の言葉「You are Rotary」です。ロータリーの「良いも悪いもあなた次第」ということです。クラブ幹事を2度、地区委員長を2度仰せつかり、会長も経験した今、この言葉は、ロータリーの事だけでなく、普段の営みにおいても、心がける基本としています。不平・不満を言ってもその言葉は、自分に投げかけているのです。

# ロータリーコラム

—— 第10回 ——

2016-17年度ガバナー  
刀根 莊兵衛



## ロータリーにはなぜ高潔性 Integrity が必要?

ロータリー戦略計画のなかの中核的価値観（組織の考え方と方向性を定める原動力であり、戦略計画においても重視される要素）の一つが高潔性（Integrity）と呼ばれている価値観です。RIの説明によれば、ロータリーにおける高潔性（Integrity）の具体的姿は次のように説明されています。

- ・活動の結果や目標達成において自らの責任を果たす意識を貫くこと。
- ・仕事や人間関係において、常に倫理と職業の高い水準を固く守っていくこと。
- ・公平さと尊敬の念を持って他人と接し、託されたリソースを良心に従って管理すること。

つまり、高潔性をもって約束を守り抜き、倫理を守ると言う意味で使われています。

このインテグリティ（integrity）については、なかなかピッタリとした日本語訳がないといわれています。英語の本来の意味はオックスフォード英英辞典によれば the quality of being honest and having strong moral principles（誠実であるとともに強固な倫理原則を維持できている状態）ということで、正直とか誠実とかよりワンランク上の状態を言うとのことのように思われます。東海大学の外国語教授 田草川弘氏によればインテグリティというのは特別な言葉だそうです。米国ではインテグリティがあると言えば最高の褒め言葉になります。逆にインテグリティを喪失したといえ、それは人格の全否定になる。インテグリティとは、いかなる権力や圧力にも<sup>へつら</sup>諂わらず屈しない道義心の堅固さ、この人ならばと人格的に全幅の信頼を集める内面的な強

靱さ、したたかさ、行動力と実績を意味するとのことです。

もっと平たく言えば、「倫理的な原理原則がしっかりして、強いものから言われたからと言って自分の立場を変えない。また自分の利益になるからと言って、いい加減なウソはつかない。ポジショントークはしない。」そうした人間の事をインテグリティのある人と言って、人格的に最高の評価を与えることになるそうです。

一言で言えば、『誠実で何事も 首尾一貫していること』と言うことだろうと思います。

具体的には、

- ・個人としての行動の中に高い倫理基準が貫かれている
- ・いつも真摯に努力している
- ・信用を守る
- ・人に対してオープンであり、正直である
- ・人に対してフェアに接する
- ・決めたことをきちんと実行し、途中で逃げない
- ・人から信用される

と言うようなところでしょうか。何か四つのテストとも相通ずるところもありそうです。これは東洋、西洋かかわらず人として一番大切なところだろうと思います。

私はこのような高潔性といわれる概念こそ、実は、日本人が昔から最も大切にしていた伝統的な価値観であり、人生の目標としてきた品格のある高尚な生き方ではないかと考えています。仏教の信仰などに基づいて、見えぬ存在を恐れ自ら省みて恥じる行為

はしないという己の内なる律を持った誠実で高尚な生き方ではないかと思えます。大事なものは他人の目ではなく、己の心の律なのです。たとえ誰一人知る者はなくとも、己ひとり心を省みて疾しいことをすれば、もはや己はダメになったのだとする心持こそ、彼らがもっとも大切にしました。バレなければ法を犯してもどんな汚い金でも平気で手に入れようとする輩とは、まるで心がけが違っていました。

ここで日本の根底に流れる文化や精神を振り返ってみましょう。

現代の日本人はとかく金銭欲、物欲、所有欲が旺盛で、物質万能社会になり下がったような気が致しますが、日本文化はもともとそういう欲望とは全く無縁な、むしろそれらの欲望の否定の上に成り立ってきたものだったのです。物欲にとらわれることを軽蔑し、欲望を精神の自由を阻害する敵と見做して、欲望を超越したところに高度な精神文化を作り上げてきました。

たとえば、日本の古典 - 西行、兼好、光悦、芭蕉、池大雅、良寛などを少し紐解けば、日本には物作りと金儲けとか、現世の富貴や栄達を追求する者ばかりでなく、それ以外にひたすら心の世界を重んじる文化伝統があります。詩人ワーズワースの「低く暮らし、高く思う」という詩句のように、現世での生存は能うかぎり簡素にして心風雅の世界に遊ばせることを、人間として最も高尚な生き方とする文化伝統がありました。

光悦の母、本阿弥妙秀は生き方の原理として、他に貧しいものが大勢いる中に己一人が多く物を所有することを悪と感じていました。その所有に対する哲学は、

- ・人間が生きていくためにはいったい何が必要で必要でないかを徹底して省察していた。
- ・世間ではともすれば金銀でも持物でも多く所有すればするほど人は幸福になると信じているようだが、むしろ逆で、所有が多ければ多いほど人は心の自由を失う。

ということでした。

本阿弥家は足利尊氏の頃から代々刀の目利き、研ぎ、磨きを家業としてきた一族でありましたが、その家業の心得の上でも、このような哲学が貫かれて

いました。また、『本阿弥行状記』には、光温の祖父で名人の光徳のそれは、光徳が徳川家康からその秘蔵する正宗の脇差を見せられたときのエピソードを伝えています。これには足利尊氏の直筆の添状まで付いており、家康のかねての自慢の品でした。しかし、光徳は御前でその刀をよくよく見ると、刀は焼き直して到底使いものにはならない。そこで、正直に見たてを申し上げたところ、家康大變立腹し、二度と召し出されることはなかったと言うことでした。

どんな権力者の前であっても、心にもないことを言うくらいなら死んだほうがましと言って憚らない、刀の目利きかけては絶対の自信と誇りを持っていたと言う光徳の強い信念であったものと思われまます。『本阿弥行状記』にはこのエピソードの後、どれほど諂いのない者であろうと、上様が御秘蔵の刀を承っているのに、しかも御前にて拝謁して、何の用にも立たぬ刀でございませと答えるほど潔い人はめったにいないだろうと、わざわざ解説まで付けています。このように本阿弥一族にとっては何よりも大事なことは自己に対する誠実であって、それを重んじるあまりに社会に対する姿勢は時にこういう愚直と言っていいほどの剛直さとなって表れたことが分かります。天命を恐れる心がまずあって、その見えぬ存在を恐れる故にわが心に叶わぬ非道は決して行わず、自らの律に従って生きてきた。それゆえに、本阿弥の目利きはよそでは考えられないくらい厳格なのだという信念なのでしょう。

また、日本には『もったいない』という言葉があります。今では死語になりつつなるのかもしれませんが、昔私たちは両親からそのような教えを受けて育ちました。

『もったいない』とは表面上はものを粗末にするなということですが、単に儉約せよと言うのではなく、もっと深い「神仏に対する不届きである、畏れ多い」という意味が込められています。食物ならたとえ米の一粒、菜の一切れでも、十分にその用を果たせないで無駄にすることは、命を冒瀆する行為、天に対する畏れ多い行為だということです。

その家や国にいくらお金があるからといって、食糧や木材や石油・ガスなど、他に貧しくて買えぬ国家や家があるのに、目いっぱい買い集めて空しく浪費する風潮は、それ自体が罪深い行為と感じます。

所有の欲望から自己を解放することが、かえってわれわれの心を自由にし、豊かなものにすることは、これまた幾多の文人たちの霊においてみてきたところです。彼らは権力とか富貴とかよりもはるかに高い価値として人間の品位というものがあることを身をもって示しています。脱俗が高雅な心に至る前提である欲望から、自由になることが人をいのちへと導くことを示しています。

最後に、高潔性と関連してノーブレス・オブリッジ (Noblesse Oblige) (優者の責任) という言葉を挙げてみたいと思います。力や富、地位を持つ者は、それを持たない弱者を救う責任を果たしてこそ『選ばれた者』として称賛され、矜持 (きょうじ、自分の力を信じていただく誇り) つまり自信とプライドを持てるという意味だそうです。一言で言えば、高い身分に伴う道義上の義務であるということになります。

また、フィリップメイソン「英国の紳士」にも本阿弥一族の信念と重なることが書かれています。

『英国紳士にとって、名誉は紳士に欠くべからざるものであるが、名誉とは、ただ世間の評判のことでなく、自尊心を——従って高潔、無欠、自足——を意味し、金は軽蔑すべきものと考えていたのだ』

日本人は昔から心の世界を重んじる文化伝統、高潔性が溢れていました。見えぬ存在を、畏れ自ら省みて恥じる行為はしないという己の内なる律を持った誠実で高尚な生き方をしてきました。しかし、このような長い文化の伝統を持つ国が、戦後アメリカ型産業社会に方向転換し、欧米並みの大量生産大量消費社会になってしまい、古来からの日本人の心を失いかけているのが現実の姿ではないかと思えます。今日、戦後の世界を支えたアメリカ型の市場経済、その恩恵にあずかってきた日本の産業体制、輸出大国 (貿易立国) などが大きな変革期に差し掛かろうとしております。これから本当に21世紀の新しい時代、大変な時代に突入するのかもしれませんが、別の見方をすれば、日本が昔から持っていた文化伝統 (高潔性、誠実性、清貧等の徳目) を取り戻すチャンスとなるのかもしれませんが。

ロータリアンは今こそ、日本人の希望と夢を呼び起こすエリートとして、高潔性を自覚し、ノーブレス・オブリッジを果たすべきではないでしょうか。

私の尊敬する西村二郎パストガバナー (京都南RC) はかつて『ロータリアンはエリートでなければならない、そして誇りを持って行動しなければならない』と言われました。「エリート」や「選良」とは、率先垂範すべき「貴き身分」(ノーブレス) の者を言うことは言うまでもありません。

戦後、日本の教育は間違った極端な結果平等主義に陥り、『みんなとおなじ』、『普通並』という生き方が最上の基準として教え込まれてきました。そして、この偏った教育のために、社会の指導的立場の人間においてさえも、『選ばれた者』としての自覚を持ち、そしてその責任を果たそうとする考えが欠落してしまったように思われます。また、そのような物質万能の人にとって一番大切な価値観はお金や地位と言うことになると思います。

バブル崩壊後二十年。社会は大きく変わり、今では格差社会が進行していると言われ、勝ち組・負け組、上流社会・下流社会などと言う言葉が流行語となっています。こうした言葉が流行語となるのも、マスコミのせいもありかもしれませんが、戦後の結果平等教育が日本人にしみ付き、そのせいで勝ち組・負け組、上流社会・下流社会などと言う言葉に過敏になっている面もあると思います。『選ばれた者』の意識のない社会ではお金がすべてであり、「高潔性」や「高い志」などといったものは忘れ去られているのではないのでしょうか。

現在の日本は、ますます将来への不安と絶望感に苛まれているように思います。そして、誇りと自覚を持って社会に模範を示すことがロータリアンのあるべき姿であり、それがロータリーの魅力に繋がっていくのではないかと思います。私たち日本人が本来持っている豊かな文化性としての『高潔性 (誠実性・清貧)』をもう一度見つめ直しては如何でしょうか。

足るを知らば貧といえども富と名づくるべし、

財ありとも欲多ければこれを貧と名づく

『往生要集』

(引用文献：中野孝次 清貧の思想)

# ロータリーの歴史

## 第10回 日本のロータリーの初期の発展と解散まで（上）

日本に根付いたロータリーがいよいよ拡大していき、初期の発展を遂げることになります。今回は、第2次世界大戦勃発によるRI脱退までの歴史を、2回に分けて振り返りたいと思います。

### 大阪クラブの設立

福島喜三次の大阪転勤を機会に、関西財界人の間にロータリーに対する関心が高まり、英米訪問実業団の一員として渡米した星野行則がシカゴへ赴き、直接RI事務総長チェスレー・ペリーと会談して、大阪クラブ設立の意向を伝えました。

日本におけるロータリーの拡大に積極的だったチェスレーは、拡大に関する直接の指導を与えると共に、星野に大阪クラブ設立に関する全権を委嘱しました。帰国した星野は、福島と協力して拡大の作業を進め、1922年11月1日に第1回創立準備会を大阪ホテルで開催します。その際集った人は10人でしたが、いろいろと奔走の結果、11月17日にはチャーターメンバー25名によって、大阪クラブの創立総会が行われます。初代会長は星野行則、副会長村田省蔵、幹事福島喜三次、会計八代則彦、理事平生夙三郎、片岡安、木村清です。

RIから1923年2月10日付けで加盟承認され、登録番号は1349です。当初は月2回の例会でしたが、1923年8月からは毎週例会に改め、管理運営面の充実、出席規定の遵守、例会の時間励行、クラブ歌の制定、親睦会、定款翻訳などが積極的に実行されました。

当初日本は、RIによる直轄クラブとして無地区Non-District Territoryでガバナーもなく、クラブ拡大に不便な状態だったので、RIは米山梅吉をSpecial Commissionerに任命して拡大に当たらせました。1924年には大阪クラブをスポンサーとして神戸クラブが、東京クラブをスポンサーとして名古屋クラブが創立され、更に1925年には京都、横浜と順次クラブが増えていきました。

次いで、井坂孝がSpecial Commissionerに任命されて、ソウル・クラブが設立され、三代目の平生夙三郎によって、大連、奉天クラブが設立されました。日本に地区を設ける希望が高まったため、RIに地区設置を申請した結果、1928年7月、朝鮮、満州を合わせて第70地区として、RIより正式承認を受けることになります。正式認定とはいうものの、当時7クラブしかなかった地域を地区として承認することにはかなりの無理があり、日本の強引な提案に、アジア各地のクラブからの反発もあり、RIもしぶしぶ了解したというのが真相のようです。

### 第70区時代

1928年7月に第70区が設置され、米山梅吉が初代ガバナーに就任しました。同年10月1日から4日間、東京において第2回太平洋会議が開催され、外国からはサットンRI会長夫妻を始めとして、109名のロータリアン夫妻、日本からは233名のロータリアンと226名のロータリアン家族が参加しました。アメリカ、ハワイには天洋丸が就航して横浜まで、オーストラリア、ニュージーランドには安芸丸が就航して、神戸までロータリアンを運びました。なお、

第3回の太平洋会議は、1930年にシドニーで開かれて、日本からは11名が参加、第4回は1932年にホノルルで開かれて2名参加、1935年のマニラ大会には16名が参加しています。

米山梅吉は1929年の京都の地区大会でガバナーに再選され、1930年の神戸地区大会で3選されます。1931年横浜大会で、井坂孝がガバナーに選ばれ、1932年の大阪大会で再選、1933年の東京大会で村田省蔵が選ばれ、1934年名古屋大会で再選されますが、それ以降は毎年交代するようになりました。

1930年にロータリー創立25周年を祝う国際大会がシカゴで開催されました。日本を代表して出席した貴族院議長徳川家達公爵（東京クラブ名誉会員）が、儀仗黒騎隊による送迎をうけた上、大会のスピーカーとして「民族の勃興」と題する演説を流暢な英語で行って、大きな感銘を与えたと言う記録が残っています。

国際大会参加に関しては、当初大会に代表者を送ることも、大会の意義も判らなかつたため、日本からの大会参加は1924年のトロント大会が初めてです。その後の大会には、RI脱退の1940年ハバナ大会まで、平均2～3名が参加しています。（最高記録は1937年ニース大会の12名）

全国レベルの最初の会合は、1926年に大阪で開かれた都市連合会Inter-City-Meetingです。当初は懇親会として準備を進めていましたが、折角集めるのだから協議事項も入れようということになって、

- ・今後、毎年開催するや否や
- ・日本ロータリー連盟設置について
- ・日本各地にロータリークラブを拡大すべきか
- ・定款・細則を邦訳する必要があるか
- ・ロータリークラブの存在や活動を広報する必要があるか

について、議論しました。

午前中の会議に続いて午後は大阪見物、夜は大阪クラブの4階で懇親会を行い、家族を合わせて138名が参加しました。

第2回の都市連合会は1927年東京で、第3回は1928年名古屋で、第4回は1929年に京都で開催される予定でしたが、この年に70区が設定されたため、これが第1回地区大会に変更されました。

初めての地区大会なので、全く様子が分からず、ホストの京都クラブはその準備が大変だった模様です。夜来の雨も上がって、1929年4月27日午前10時に京都華頂会館で開会。京都クラブ副会長シャイベリー夫人のピアノ伴奏による「Rotary」の合唱に続いて、米山ガバナー、京都市長の挨拶、各地ロータリークラブ代表の現状報告の後、協議に移りました。

次期ガバナーに米山梅吉が再選され、次の大会開催地が神戸に決定しました。東京クラブから提案されていたHe profits most who serves bestを撤回する案は保留となり、その他7項目が決議されました。

知恩院で精進料理の昼食をとり、島津製作所、歌舞練場を訪れ、夜は京都ホテルで晩餐会が行われました。その席上、米山夫人に薔薇の花を入れた銀の花瓶が贈られるはずが、薔薇の代わりに藁が届いて大騒ぎになったというエピソードが残っています。翌日はエクスカーションとして京都御所と日活撮影所、嵐山を訪れています。

第2回地区大会は翌1930年5月に、RI会長代理としてフランク・マルホランド氏を迎えて神戸で開催され、10クラブ、会員家族合わせて437名が出席しました。この席上で、奉天クラブから、日本語のロータリーソングを作ること、奨学金制度を作ること、ガバナー月信を発行することが提案されました。

地区大会はその後1931年横浜、1932年大阪、1933年東京、1934年名古屋、1935年京都、1936年神戸、1937年札幌、1938年ソウル、1939年別府とRI離脱まで開催されています。

### ポール・ハリス訪日

1935年、ポール・ハリス夫妻がRI会長ヒル夫妻と共に日本を訪れました。2月下旬に、マニラで開かれる第5回太平洋大会に参加する途中の訪日で、当初は2月6日に、横浜に到着する予定でした。1

月末にプレジデント・クーリッジ号に乗船し、日本に向かって航行中である旨、電報による連絡がありました。悪天候のため順延して、2月9日午前5時に横浜に到着しました。

横浜市長、鹿島東京RC会長他多数の出迎えを受け、横浜のニューグランド・ホテルで小憩の後、10時30分、東京駅に到着しました。到着予定が大幅に狂ったため、当初予定されていたスピーチ等の全ての公式行事は中止となり、二重橋、明治神宮その他の市内観光の後、午後2時、帝国ホテルに到着しました。小憩の後、ホテル前庭に月桂樹を植樹後、芝公園内の紅葉館で行われた歓迎会に参加しました。

歓迎会の後、三越百貨店、御木本真珠を訪問し、夕刻帝国ホテルに戻って衣装換えの後、午後6時から、東京會館4階で行われた東京RC、横浜RC主催の歓迎晩餐会に出席しました。

歓迎晩餐会終了後、午後9時30分、東京駅発の列車に乗車し、翌朝7時50分、京都に到着。京都ホテルで朝食の後、車で京阪国道を通り、新大阪ホテルへ向かい、午後1時より開会された、京阪神3RC連合の歓迎会に参加しました。

この歓迎会には、京阪神の他、岡山、門司、名古屋、ハルピン等のロータリアン130名が参加しました。ロータリーソングに始まり、来賓紹介、村田ガバナーの歓迎の辞の後、ヒルRI会長、ポール・ハリスの答辞がありました。席上ヒル会長には七宝香炉、ポールにはブロンズの胸像が贈られました。

晩、車で神戸に向かい、プレジデント・クーリッジ号でマニラに向けて出航しました。なおこの便には、太平洋大会に参加する多数の日本人ロータリアンが乗船しました。

### 日満ロータリー連合会

1935年、京都で第7回地区大会が開催され、新作の日本語のロータリーソングとして、「奉仕の理想」と「われらの生業」が発表されました。

1936年に神戸で行われた地区大会では、「紀元

2600年に日本で国際大会を開催する」、「シカゴの中央集権を緩和して地区分権制度に改める」、「アメリカのロータリーにおける東洋人差別是正」の案件を審議する予定でしたが、たまたま神戸の直木太郎が提出した「大連クラブのロータリー宣言を70地区のロータリー宣言として採択する」という動議を巡って大混乱になりました。

米山梅吉は、国際ロータリーにおいて決定した[ロータリーの綱領]は一言一句の変更は許されないと述べたのに対して、京都クラブの会長田辺隆二は、それは英文のことであって、その精神を日本語で表すものがあるとしてもよいと反論し、村田省蔵パストガバナーは、この大連宣言を推奨したのは自分であり、これは立派なものであるから、これを英訳して[ロータリーの綱領]を改正するように、RI本部に提案したらよいと述べました。

結局、大阪の里見純吉の提案によって、この宣言はロータリーの綱領の変更ではなく、内容を補足するものとして、大会宣言することで収められました。

1922年に、ヨーロッパで最大のロータリークラブ数を擁するイギリスとアイルランドがRIBI Rotary International British & Irelandを結成したことから、世界各地でRIの管理から離れて、地域分権を求める気運が高まってきました。日本もこれに倣って、日本、満州、朝鮮でRIJM Rotary International Japan & Manchuriaを結成しようとする[ロータリーの日本化]が、真剣に論議されるようになりました。

当時、韓国と台湾は日本の統治下にありましたから、問題はないとしても、満州が70地区に含まれていたことは、RIが満州を日本と一体のものとして認識していたものと考えられます。これに対して、1932年にホノルルで開催された第4回太平洋地域大会で、中国のクラブからは是正するようという提案がありましたが、提案を取り上げる者は誰もいませんでした。(大会に出席した平生鈺三郎談)



# ロータリー情報

## 会員増強の新しい考え方

2015年ころから、国際ロータリー（RI）の会員増強の視点が少し変化してきたように思われます。従来、RIは会員増強と言えば、Membership Development（直訳すれば会員開発）と言う言葉が使われ、公式日本語訳は会員増強となっていました。昨今、このDevelopmentに代わり、「**attraction and engagement**」と言う英語が使われるようになり、ロータリー章典に書かれている関係する項目が全てこの言葉に置き換わりました。この、「**attraction and engagement**」と言う言葉は、以前の単に会員の勧誘と繋ぎ留め（member

recruitment and retention）と言う言葉から一步踏み込んで、ロータリークラブの会員になることの魅力を高め、会員として所属クラブとの関わりや絆を深めるという事になるのだと思います。

このような変化の中で、2016年1月理事会で、RIの会員増強戦略計画が下記のように改訂され、4つの戦略が示されていました。

### 5.030. RI会員増強戦略計画

#### RI Membership Strategic Plan

##### 戦略－協調された組織的フォーカス（集中）

##### Strategy-Coordinated Institutional Focus

###### 目標

- ・ RIおよびTRFのシニアリーダーや職員は、（会員増強に）継続した協調的ビジョンを示し、それに焦点を当て、そして関与する。
- ・ 地域別会員増強戦略計画に含まれる、会員増強のイニシアティブ評価と会員増強報告/測定を強化する。
- ・ 革新、柔軟性およびロータリーの財政的安定性を強化に関する立法案について助言する。
- ・ ポリオ撲滅がロータリーの外部へ向けての最優先課題であるが、一方、会員増強は国際ロータリーが一貫して内部的な最優先課題であるということを確認する。
- ・ 私たちの使命や組織の目的、誰が私たちの（会員増強の）ターゲット層であるか、あるいは誰が私たちの顧客（奉仕の対象）であるかについて組織のコンセンサスを確保する。

##### 戦略－クラブ能力開発 Strategy-Club Capacity Building

###### 目標

- ・ ロータリーの経験を向上させる方法を確立する。
- ・ ロータリーの理解を増加させ、ロータリーのリソースの利用を促進する。
- ・ 地区およびクラブの会員増強チームを強化する。

### 戦略－会員を惹きつける（会員となる魅力）

#### Strategy-Member Attraction

###### 目標

- ・ 代替となるモデルを開発し、また私たちの（会員増強の）ターゲットとなるマーケットにアピールする更なる方法を開発する。
- ・ 各世代における（会員増強の）ターゲットとなる層に訴える、世代横断型で分割型マーケティング戦略を実行する。
- ・ 会員の資格に基づき、ロータリーにおける全ての年代、性別、地域別、そして職業分類の多様性を向上する。

### 戦略－会員エンゲージメント（会員としての関わりや絆を深める） Strategy-Member Engagement

###### 目標

- ・ 退会防止を図るために、現存するあるいは終結クラブの会員の追跡調査を継続支援する。
- ・ 効果的なクラブや会員となるため、会員であることの意識向上の機会を強化する。
- ・ 地域社会におけるロータリーの認知度を向上させる。
- ・ RI年次大会やロータリーの会合を、会員同士がより良い関係を作る機会として利用する。
- ・ 新会員のオリエンテーションや個人指導を推進し、積極的に売り込む。

（2016年1月理事会会合、決定104号）

この4つの戦略のなかに、先ほどの戦略－会員を惹きつける Strategy-Member Attraction と戦略－会員エンゲージメント（会員としての関わりや絆を深める） Strategy-Member Engagement があるのです。

Member Engagement	会員エンゲージメント
	積極的参加、関わりや絆を深める、会員愛着度
Member Attraction	会員となる魅力
	会員を惹きつける、会員魅力度

この決定のちょうど一年前の2015年1月の理事会決定（181号）では、DLPが改定され、ガバナー補佐の役割りに、「**会員を惹き込み、積極的参加を促すことの重要性を強調する**」ことが謳われています。（emphasize the importance of membership attraction and engagement）

また、地区委員会の推奨名称も、Membership Development Committee（会員増強委員会）から Membership Attraction and Engagement Committee（入会・参加促進委員会）に変更になりました。文字通り、委員会の役割りと

して、「会員を惹きつけ、ロータリー活動に積極的参加させる」こと（membership attraction and engagement）が求められているのです。

さらに、地区が主催する地区会員増強セミナーの主題のなかにも、この2つの要素が推奨されています。

### 20.100.3. 地区会員増強セミナーの構成 District Membership Seminar Components

プログラムの前述の目的を達成するために、地区会員増強セミナーには次のような構成要素が含まれる。

- ・会員概観（会員とは）
- ・クラブ活動への積極的参加
- ・クラブ会員となる魅力
- ・新クラブの拡大
- ・会員の役割と責務
- ・活気あるロータリークラブ
- ・試験的クラブ
- ・リソース

（2015年1月理事会会合、決定118号）

ところで、2016年4月の理事会決定で、RI戦略計画の優先項目のクラブのサポートと強化の中にもこのことが反映されており、「会員の勧誘と維持を改善する」（Improve member recruitment and retention）の項目が「**会員魅力度の向上と（ロータリー活動への）積極的参加促進**」（Improve member attraction and engagement）に変更されました。

また、RI会長の会員増強における役割（President's Role

in Membership Growth）も変更され、新ロータリークラブの結成および会員の魅力度と愛着度向上の達成のための、RI会長は特別で達成可能で、測定可能な目標を定めるように求められるようになりました。

RIの会員増強に関する方向性の変化を見るとき、おのずと今後のRIの会員増強の考え方を再確認できるように思います。

すなわち、会員となる魅力向上はクラブの将来ビジョンに繋がり、会員エンゲージメントの向上はクラブの友情・友愛、もっと言えば、会員同士の絆に繋がっていくように思われます。

#### 会員となる魅力 (Member Attraction)

・・・クラブの将来ビジョン

- 会員の魅力（あのような素晴らしい人たちがいるから）
- 会員となることの魅力（新しい友人、自己啓発、事業上のアイデア交換）
- クラブの魅力（魅力的な奉仕活動、奉仕の感動）

#### 会員エンゲージメント (Member Engagement)

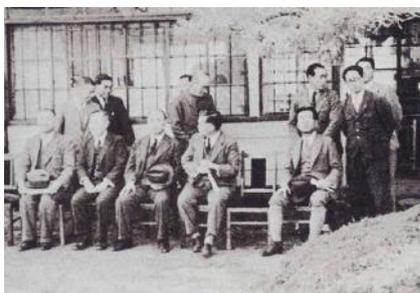
・・・クラブの友情・友愛

- クラブ活動への積極的参加によるクラブ愛着度の向上
- 会員同士の親睦と友情。絆づくり。
- ロータリーライフを通じての個人的成長（ロータリーの存在価値）

## 米山梅吉記念館便り

### シリーズ⑧ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、46歳で「新隠居論」を著しました。一旦名を成した男子はすべからく後進に道を譲り、社会事業に貢献すべしという内容で、報恩会はこの信条の実践の場でした。当時三井一族が3,000万円、現在換算では800～900億円ともいわれる出資をし、社会、文化諸事業に貢献する目的で設立されました。理事長は米山でした。



昭和11年、岩手県視察の三井報恩会一行（前列中央・米山）（(財)三井文庫提供）

ハンセン病への助成出資はもちろん米山は昭和15年から青森から沖縄のハンセン病棟を訪ね、癌には100万円をラジウムを寄付、結核療養所もほとんど訪問し、高額な寄付もしています。農村振興も多岐にわたり東北の疲弊した農村を復興させ、西平内村には謝恩の記念碑が今も建っています。

**春季例祭** | 平成29年4月22日(土) 午後2時～ 式典／講演会  
**ご案内** | 米山梅吉記念館  
 登録料無料 アトラクションあります。  
 多くの皆様ご参加ください。

### 米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌  
 本文268ページ/2,500円

#### 米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

# クラブ通信

今月は、今話題となっている「目の錯覚、体験学習・講演会」を開催された三国RCさんと、野洲RCさんの、クラブ創立60周年記念事業としてはじめられ今も続けられる「ヨシ群落の再生事業」を取上げました。

## 「錯覚学習体験並びに講演会」報告

2016-17年度 公共イメージ委員長  
高須 正実 (三国RC)

10月19日午後5時、三国高校美術部員が制作するトリックアート用材料の段ボールを、クラブ会員と共にレンゴー本社へ取りに伺ったところから「フシギワールドフシギノクニ ミクニ」事業の始まりです。

12月11日には、錯覚の世界を体験しよう！ということで、「錯覚学習体験工作」がみくに龍翔館で行われ、児童と保護者、同クラブ会員ら75名が参加されました。「鏡に映すと姿が変わったり一部が消えたりする立体作品作りを、



錯覚美術の研究者として知られる杉原厚吉・明治大特任教授のご指導を受け挑戦します。完成した作品を鏡の前に置き、見る角度を変えると起きる視覚トリックに皆さん驚いていたようです。翌12日には三国高校で「不可能立体の不条理の世界：脳はなぜだまされる？」と題した杉原厚吉教授の講演会が開催され、約430名が出席しました。生徒には専門的な内容にもかかわらず理解しやすい講義だったと感じていたようです。

## ヨシ群落の再生事業

2016-17年度 社会奉仕委員長  
松沢 松治 (野洲RC)



近年びわ湖の環境悪化に伴い、野洲市地先の湖岸に多くのゴミが流れ着くようになりました。それをくい止めようと野洲クラブは多くの市民、企業、団体等と、湖岸の清掃を毎年行っています。

又、野洲市地先の湖岸には昔から、大変大きなヨシ群落があり、多くの魚や鳥の遊び場や繁殖場になっていました。そのヨシ帯はびわ湖総合開発により道路となり無くなってしまい、その後びわ湖の環境が問題になりました。

色々な対策の中、びわ湖再生が提唱されてきたので、野洲クラブは野洲市地先にあったヨシ群落の再生事業を計画し、2012年にロータリー財団地区補助金

を活用し、実行しました。これはびわ湖再生の一環で、まずはびわ湖の固有種の保全、更には生物多様性、下流域140万人の水の安全安心に寄与できる事業で、多くの市民や団体が参加してくれました。ヨシ群落再生事業は、2012-13年度から2015-16年度の4年間、ロータリー財団地区補助金を頂き、4,500㎡の敷地に、毎年約1,000株のヨシ苗を、試行錯誤を重ねつつ植栽してきました。この期間の参加人数は毎年200人余り。同時に市内の中主小学校5年生を対象にヨシについての環境学習とヨシ苗作りの実習を年に2時間行いました。

今年度は地区の補助金を頂けなかったので、野洲クラブの費用のみで行いました。今現在、総面積の約6割が再生できました。今後も目標達成まで何とか続けていきたいと思っています。

第2650地区 2017年1月 会員数の増減および出席率表

京都府 (42クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
綾部	26	0	0	26	28	1	2	3	93.59	1
福知山	59	0	0	59	59	3	3	3	90.00	0
福知山西南	43	1	0	44	40	4	0	4	94.35	1
亀岡	29	0	0	29	29	1	1	4	100.00	0
亀岡中央	11	2	0	13	11	2	0	4	76.14	1
京丹後	29	1	1	29	29	1	1	2	85.58	1
京都	203	1	1	203	191	19	7	3	99.47	0
京都伏見	91	0	0	91	94	4	6	4	91.55	9
京都平安	22	0	0	22	23	0	1	3	69.57	5
京都東	91	1	0	92	91	3	2	4	96.98	0
京都東山	77	0	2	75	73	6	4	4	90.20	4
京都北東	25	0	0	25	25	0	0	3	88.34	1
京都城陽	34	0	0	34	32	2	0	4	100.00	2
京都桂川	30	0	0	30	29	1	0	3	90.09	0
京都北	69	2	0	71	68	5	2	4	83.03	0
京都南	229	3	0	232	230	8	6	4	88.88	0
京都モーニング	41	2	0	43	40	3	0	3	95.12	5
京都紫野	57	0	0	57	56	3	2	3	100.00	0
京都中	40	0	0	40	38	3	1	4	99.38	0
京都西	106	0	0	106	103	3	0	3	100.00	0
京都西山	20	0	0	20	20	0	0	3	100.00	1
京都乙訓	40	0	0	40	41	0	1	4	85.34	1
京都洛中	94	0	0	94	91	5	2	4	100.00	0
京都洛北	70	0	0	70	71	1	2	3	96.33	0
京都洛南	32	0	0	32	32	1	1	4	91.13	2
京都洛西	51	0	0	51	49	4	2	4	90.19	6
京都洛東	43	0	0	43	43	0	0	4	82.10	0
京都嵯峨野	23	0	0	23	23	0	0	3	76.81	1
京都さくら	25	0	1	24	26	0	2	4	80.57	7
京都西北	42	0	0	42	42	1	1	3	81.76	2
京都西南	45	0	0	45	44	2	1	4	95.58	4
京都紫竹	37	0	0	37	37	0	0	4	94.61	2
京都朱雀	35	0	0	35	34	2	1	3	84.64	4
京都田辺	20	0	0	20	19	1	0	3	94.44	3
京都山城	25	0	0	25	26	2	3	3	98.66	0
京都八幡	31	0	0	31	31	0	0	4	88.46	4
舞鶴	27	0	0	27	28	0	1	4	92.42	0
舞鶴東	38	0	0	38	37	1	0	3	82.84	4
宮津	34	1	0	35	34	2	1	4	95.50	0
園部	23	0	0	23	23	0	0	3	96.29	0
宇治	40	0	0	40	39	1	0	4	95.41	1
宇治鳳凰	47	0	0	47	47	1	1	3	97.15	6
小計	2,154	14	5	2,163	2,126	96	57	3.5	91.25	78

奈良県 (14クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
あすか	56	0	0	56	56	1	1	3	93.28	0
五條	33	0	0	33	34	1	2	4	93.75	1
平城京	22	0	0	22	24	0	2	3	75.12	2
生駒	21	0	0	21	22	1	2	3	82.54	2
橿原	46	0	0	46	46	0	0	4	88.13	1
奈良	128	0	0	128	125	4	1	4	93.24	4
奈良東	35	0	0	35	38	0	3	3	98.85	0
奈良西	42	0	0	42	43	2	3	3	81.33	2
奈良大宮	66	0	0	66	68	0	2	4	94.51	0
桜井	18	0	0	18	15	4	1	3	84.45	4
大和郡山	52	0	0	52	52	0	0	3	87.43	2
やまとまほろば	31	1	0	32	32	2	2	3	85.33	3
やまと西和	25	0	0	25	24	1	0	3	81.31	2
大和高田	98	0	0	98	95	3	0	4	98.91	4
小計	673	1	0	674	674	19	19	3.4	88.44	27

福井県 (19クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
福井	131	0	0	131	125	9	3	3	83.84	11
福井あじさい	62	2	0	64	64	3	2	4	76.60	5
福井フェニックス	57	0	0	57	56	3	2	3	79.53	9
福井東	47	3	0	50	46	4	0	3	78.23	9
福井北	105	0	0	105	105	4	3	3	63.42	10
福井南	34	1	0	35	35	2	2	4	78.59	1
福井西	35	1	0	36	32	4	0	3	86.01	3
福井水仙	22	0	0	22	22	0	0	3	75.76	2
勝山	29	0	0	29	28	1	0	3	82.76	4
丸岡	37	0	0	37	34	5	2	3	78.60	0
三国	32	3	0	35	32	3	0	4	90.37	4
大野	41	0	0	41	40	1	0	2	83.87	2
鯖江	35	0	0	35	32	3	0	4	80.10	3
鯖江北	13	0	0	13	13	0	0	3	76.92	0
武生	59	0	0	59	57	4	2	4	78.95	3
武生府中	30	0	0	30	30	0	0	4	100.00	0
敦賀	33	0	0	33	33	2	2	3	86.67	1
敦賀西	19	0	0	19	17	3	1	3	78.95	1
若狹	27	0	0	27	26	3	2	3	100.00	1
小計	848	10	0	858	827	54	21	3.3	82.06	69

滋賀県 (21クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
びわ湖八幡	43	2	0	45	42	4	1	4	92.76	1
五個荘能登川	23	0	0	23	21	2	0	2	73.64	0
東近江	32	1	0	33	30	4	1	4	88.86	0
彦根	62	0	0	62	62	2	2	3	90.43	5
彦根南	65	0	0	65	63	4	2	2	96.55	0
湖南	39	0	0	39	40	0	1	3	88.47	3
草津	29	0	0	29	30	0	1	3	96.15	0
水口	36	1	0	37	37	1	1	3	97.78	0
守山	39	1	0	40	39	2	1	4	94.77	1
長浜	63	0	0	63	59	5	1	3	96.63	3
長浜東	59	0	0	59	58	3	1	4	98.26	0
長浜北	26	0	1	25	26	1	2	4	84.54	4
近江八幡	44	0	0	44	44	1	1	3	94.56	1
大津	115	4	0	119	109	11	1	4	100.00	5
大津中央	30	0	0	30	29	1	0	4	83.13	4
大津東	25	0	0	25	22	4	1	3	80.82	4
大津西	20	1	0	21	20	1	0	4	92.17	0
栗東	44	0	0	44	43	1	0	4	90.12	2
高島	44	0	0	44	44	0	0	2	100.00	2
野洲	41	0	1	40	40	1	1	4	90.07	2
八日市南	46	0	0	46	48	0	2	3	81.54	2
小計	925	10	2	933	906	48	20	3.3	91.01	39

Eクラブ (1クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
日本ロータリーEクラブ2650	48	0	0	48	50	1	3	3	100.00	5
小計	48	0	0	48	50	1	3	3	100.00	5

合計 (97クラブ)

クラブ名	前月末 会員数	入会	退会	1月末 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	例会数	出席率 %	女性 会員数
合計	4,648	35	7	4,676	4,583	218	120	3.3	89.08	218

■表作成にあたって  
 ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。  
 ・入退会者数、1月会員数および入退会者累計数は1月末現在です。  
 ・「期首会員数」は、平成28年7月1日入会の会員数を含みます。

国際ロータリー第2650地区 2016-17年度 1月 会員の動き

1月入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
福井あじさい	太田 貴司	木材業
福井あじさい	辻川 貴宏	LEDレンタル業
三国	加藤 靖	印刷
三国	川森 伸宏	料理業
三国	村田 和治	石材業
福井南	宮崎 研吾	印刷業
福井東	瀬戸 佳	建物管理
福井東	大須賀孝周	仏教
福井東	天谷 賢作	製造業
福井西	田村 隆児	自動車整備
びわ湖八幡	小林 正典	金融業
びわ湖八幡	牧村 隆史	リサイクル業
守山	北野裕一郎	茶道
水口	石神 義隆	建築
大津西	太田 永周	建築
東近江	田中 正幸	小児科
大津	中山 雅文	倉庫
大津	服部起久史	宅地建物取引

1月退会者一覧

クラブ名	氏名
京都さくら	長野 陽子
京都	岩崎 悟志
京都東山	木村 茂

ご逝去会員一覧

クラブ名	氏名
長浜北	土田 良夫
野洲	仁志出良平
京都東山	岩橋 忠昭

クラブ名	氏名	職業分類
大津	牧 春彦	化成品
大津	中井 正	生命保険業
京都北	吉居 明良	宝飾品販売
京都北	細見健次郎	ネクタイ製造
亀岡中央	小菅 晶	木造建築
亀岡中央	川勝 忠	照明デザイン
京都東	山内 一正	建設資材販売
宮津	今林大一郎	不動産賃貸業
京都	小畑 直樹	自動車販売
京都南	井上 隆司	紙・紙製品卸売
京都南	荻田 勝紀	ホテル
京都南	大庭 正剛	信用金庫
京都モーニング	三宅 紘子	弁理士
京都モーニング	新納麻衣子	公認会計士
京丹後	吉浪 和也	鍛造
福知山西南	坂入 美保	不動産貸付業
やまとまほろば	鍵 竜二	測量設計

文庫通信 (354号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

忘れ得ぬロータリアン (3)

- ◎「ロータリーの黎明 ポール・ピー・ハリス」宮脇 富 1967 3p
- ◎「第1号ロータリークラブ誕生 シルベスター・シール」宮脇 富 1967 3p
- ◎「ロータリーと歌 ハリー・ラッグルス」宮脇 富 1967 3p
- ◎「ラッグルスの回顧録」宮脇 富 1967 3p
- ◎「冒険と挑戦 チェスリー R・ペリー」宮脇 富 1967 3p
- ◎「ロータリー定礎の三人」塚本義隆編 大阪R.C 1979 42p
- ◎「献身的ロータリアン群像」松本兼二郎 1979 8p
- ◎「我が自叙伝」ハーバート J. テーラー著；菅野多利雄訳 1990 219p
- ◎「ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり」鳴海淳郎 2000 9p
- ◎「奉仕理念の提唱者 アーサー・フレデリック・シェルドン」田中 毅 2002 85p

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

Rotary  
District 2650



Kyoto  
Nara  
Shiga  
Fukui

国際ロータリー第2650地区

2016-17年度ガバナー 刀根 莊兵衛

ガバナー事務所 ●  
 〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室  
 TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2016-17@rid2650.gr.jp